

かさまつ

青少年育成町民会議だより

はじめてみませんか…



地域の

ふれあい



米野町内会 三世代交流ラジオ体操

新しく転入された若い世代が増えてきた米野町内会では、子どもたちを主体とした活動が活発に行われています。

今回、『あいさつと笑顔があふれる地域』をスローガンに、町内会・子ども会・老人会が協議した結果、「子ども会夏休みラジオ体操」を三世代交流事業として実施する事が決まり、町内回覧で全世帯（720軒）に周知しました。東西に長い町内のため、3つの会場で同時開催し、毎回幼児から高齢者まで約180人の参加がありました。「おはよう」の挨拶から始まり、体操が終われば「また明日ね」といった声掛けが回を重ねる毎に増えました。地域住民が顔見知りになる第一歩として動き始めたと思います。今後も『笑顔があふれる地域づくり』のため様々な活動を行いたいと思います。

青少年育成部会

平成27年6月28日開催

第37回 少年の主張大会

最優秀賞に選ばれた2名の方は、少年の主張岐阜県大会 岐阜圏域選考委員会に推薦されました。

最優秀賞

中学生の部

最優秀賞



支え合う地域へ
都竹 優花



優秀賞

佐伯 尚哉

片桐 早稀

荒木 咲良

古田 彩乃



感謝を伝えるあいさつ
西松 新

小学生の部



優秀賞

松枝小 6年
永木 倫奈

松枝小 6年
片桐 悠喜

笠松小 6年
栗本 光琉

笠松小 6年
高橋 健太

下羽栗小 6年
田中 優翔

下羽栗小 6年
内藤 彩加

青少年育成部会

青少年の作文 テーマ「家庭・学校・地域」

最優秀賞

優秀賞



同じよしてかんだこと
松枝小3年
林 愛実



新たな一歩
松枝小6年
小野木 梓



明るい地域社会にするために
笠松中3年
清水 咲菜

ひいばあちゃんのジャガイモ

下羽栗小 2年 宮崎 右京

私と学校

笠松小 3年 日原 健

ばしょうおどり

下羽栗小 4年 河田 朋子

私を元気にしてくれる地域

笠松小 5年 西尾 珠乃

家族との関わり

笠松中 2年 吉田 侑未

青少年育成部会

街頭啓発活動

青少年によい環境を

青少年の非行・被害防止全国強調月間にあわせて、7月5日(日)「トミダヤ(長池)」「ピアゴ(米野)」、7月9日(木)「笠松駅」で街頭啓発活動を行いました。準備を岐阜工業高校の皆さんにご協力いただきました。



▲笠松中央公民館前にて出発式



▲トミダヤ(長池)での啓発活動



▲笠松駅での啓発活動



▲ピアゴ(米野)での啓発活動

地域活動部会

三世代ふれあい活動



地域活動部会では、青少年の健全育成や地域活性化を目指して、育成員を中心に、子どもからお年寄りまでが共に交流する「三世代ふれあい活動」を推進しています。



▲田代西「祭礼みこし」



▲長池東西「三世代グラウンドゴルフ大会」



▲下門間「三世代親睦バーベキュー大会」



▲宮川町「三世代ふれあいもちつき大会」



二分の一成人式

～親から子へ・子から親への手紙～

家庭部会では、親子の絆を深め合う取り組みとして、今年も10歳を迎える児童とその親がお互いに手紙を送り合う「二分の一成人式」を行いました。心あたたまるメッセージの一部を紹介します。

親から子へ

赤ちゃんのころから、いつもおだやかで、にこにこしてみんなをなごませてくれていました。小学生になってもどんなことにも前向きで明るくとりくんでいてうれしく思います。あなたの笑顔とおちついた意見にときどきママの方が助けられます。これからもその笑顔と前向きな姿勢で夢に向かってがんばってね。

パパとママのとこに産まれてきてくれて、ありがとう！

子から親へ

小さいころのビデオを見ていたら、いつもにこにこしていました。お兄ちゃんの名前をしていました。わたしが言葉をおぼえるときは、お母さんもこいねいな言葉にして教えてくれました。何かをしようとするとき、いつも協力してくれて、ありがとう。わたしは将来、作曲家になりたいです。そのためにお母さんは、いつもピアノのひき方や先生に言われたことなど、わがいやなく教えてくれます。「笑顔」と「前向き」をこれからもがんばります。ゆめがかたうまで、おうえんしててね！

親から子へ

今まで大きな病気もせず、元気に育ってくれてパパもママも毎日笑顔でいることができました。いろいろなことに挑戦する姿、よくがんばっていると思います。これからも何事にも挑戦することを忘れずに最後まであきらめないでやろう。周りの人のことを考えられる人間になろう。心のやさしい人になってほしいです。どんなすてきな成人式がむかえられるのか今からワクワクしています。

あなたがいてくれて今の家族があります。感謝です。

子から親へ

いつもありがとう。おがあさん、おとうさん。おがあさん、私はいつもためになることができているけれど、おがあさんは私のためにいろいろなことを10年習ってくれたと思います。これからの10年間は、もっと親こうこうしたいと思います。おとうさん、いつも私達のために仕事をがんばってくれています。お父さんは、いつも私のお話をさいごまで聞いてくれます。私はもっと親にたよりに自分でいろいろな事やってみたくて思います。

青少年健全育成講演会を開催しました



テーマ
『青少年を取り巻くスマホ・ケータイ事情と大人にできること』
講師 KDDIケータイ教室 岩田 幸雄 様
日時 平成27年11月11日(水)

ケータイ、スマホはとても便利なツールである一方、子どもたちが安全に使うためには、ルールやマナーを守り、危険な目にあわないための使い方を知ることが必要です。フィルタリングなどを適切に設定し、ご家庭でルールを決め、安心・安全に使えるように管理することの大切さをお話されました。

わが家 わが町 家庭の日 発表会が行われました



日時 平成28年1月17日(日)
場所 羽島文化センター みのぎくホール
主催 岐阜県・公益社団法人岐阜県青少年育成県民会議

岐阜圏域において「家庭の日」の実践に取り組む家庭や団体の発表が行われました。今年度は笠松町の「青木さん一家」が『家庭で取り組むボランティア』と題し、お父様夫妻・ご本人夫妻・お子さん兄妹の6人家族がそれぞれに自然体で爽やかに地域のボランティアに取り組まれている様子を発表されました。

編集後記

「まちの人とのふれあいは宝もの」

地域社会に貢献するボランティア活動を行う全国の中高生の中から、今年度、笠中生と岐阜工生が高く評価され、「ボランティア・スピリット賞」をW受賞しました。人とのふれあい・関わりの中から、やさしさや思いやりが生まれ、「利他の精神」が大切なことを子ども達の姿から発信されています。私たち大人もこの心意気を励みに奮起しましょう。(昌)